

講義名	対)専門基礎演習(人)			
担当教員	濱田 実			
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要				
観光産業におけるエアラインを研究、「ホスピタリティ」の重要性とその発揮手法、関連他事業との共通性について考察する。グループワークを中心とした演習方式にて授業を進め、観光産業への興味を深めるとともに、3つの社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を習得する。今後の専門的な学習を進めるうえで、必要となる基礎的な学習方法を習得する。				

到達目標				
多様化する顧客ニーズを分析のもと、ホスピタリティの価値を理解し発揮できるようになる。 ホテルの研究課題を通して、新たな販売促進アイデアを企画提案できるようになる。 チームでの活動を通じ、協働性、協調性、コミュニケーション力等を発揮して主体的活動ができるようになる。				
提出課題				
授業にて、随時レポート課題の提出を求める。				

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック				
課題について授業内でプレゼンテーションの機会を取り入れ、発表という経験を通してクラスメートと一緒に改善点を模索し、次へのステップアップを図る。				

評価の基準				
授業への参画姿勢(主体性・規律性)、特に遅刻は厳正に評価します : 30% 授業やチームへの貢献度・協調性 : 30% 独創性・提出物完成度・プレゼンテーション : 40%				

履修にあたっての注意・助言他				
この科目は、仲間で協力しあって学習し、活動することになるのでチームワークが大切です。 外部の人たちと連携して活動が展開されるので、社会人としての常識、マナーに心掛けてください。 現地での活動が予定されていることから、交通費程度の実費が発生します。 現地での活動は特殊なスケジュールとなるので、日程を十分に理解した上で履修してください。				

教科書				
.使用しない。				

プリント資料及び参考文献				
必要に応じてプリント配布する。				

授業計画				
1. オリエンテーション 2. 概観講義「エアライン事業について」 3. グループワーク「エアラインを調べよう」 4. グループディスカッション-1「ホスピタリティとは」 5. グループディスカッション-2「他事業との共通性：ホテル」 6. グループ毎でのプレゼンテーション 7. 座学 ホテル 8. 座学 神戸観光 9. ホテル見学&レクチャー 10. グループワーク ホテル宿泊プランを作る-1 11. グループワーク ホテル宿泊プランを作る-2 12. ホテル宿泊プラン発表会 13. ホテル見学・発表を終えて(個人発表) 14. 代休 15. 研究総括、まとめ				

授業形態(アクティブ・ラーニング)				
	ア:PBL(課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
<input type="radio"/>	ウ:ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ:グループワーク	
<input type="radio"/>	オ:プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ:実習、フィールドワーク	
	キ:その他(ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)			

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間				
以下のことを予習(2時間)・復習(2時間)として学修する。 社会人基礎力の内容把握 マナーの確認 授業で指定する課題の整理、レポートの作成 自主活動調査に関する事前準備 発表に関する議準備				

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
到達目標 - を達成することで共通OPに貢献できる。今や必要不可欠となったホスピタリティを研究することによって、思考力、コミュニケーション力、提案力など観光産業への就業につながる資質を養い、高い能力を発揮できる人材をつくる。				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
演習課題では、テーマにそって各自が情報収集し、グループワークを通してディスカッションしながらホスピタリティを発揮する価値や新しい視点でのホテルステイプランを考えグループ発表を行います。				

実務経験の有無及び活用				
航空会社での勤務経験(本社部門、空港部門、貨物部門、海外支店など)を活かして、実社会での様々な経験・エピソードを交えながら、社会人基礎能力の醸成を図る。				

備考				
現地での活動を予定するため、突如として授業が発生する可能性があること、また必要に応じた実務負担が発生します。				